

# ともに考えていきましょう！子どもたちのために ～寄島地区の新しい学校の姿「義務教育学校」～

令和4年12月第1号発行 よりしま魅力化推進協議会(学校運営協議会)

学校運営協議会では、共育目標である「育てよう、生きる力ともやいの心をもつ子ども」の育成に向け、子どもたちの豊かな心の育成、健やかな学びや育ちを支えるために、地域学である「よしま学」を中心に様々な教育活動に関わってきております。

そんな中、学校運営協議会では、寄島地区の子どもたちにとってさらによい教育の場、豊かな学習展開ができるものはないかと考え、**現在、施設一体型小中一貫校である「義務教育学校」について、研究を進めております。**

今、研究している新しい学校の姿「義務教育学校」についてお知らせします。

## 義務教育学校とは？

小学校課程から中学校課程までの義務教育9年間の教育を一貫して行い、義務教育の目標を達成することを目的とする施設一体型の新しい学校です。

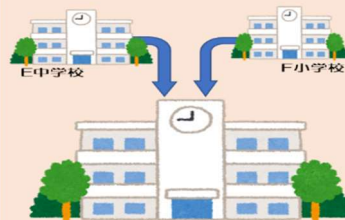


組織・運営を一体化した形態で教育活動を展開します。教職員、児童生徒が同じ敷地で日常的に交流が促進します。

## 義務教育学校のイメージ

施設一体型小・中一貫校

学校に一人の校長・一つの教職員組織  
修業年限：9年



## 【全国における義務教育学校の設置状況】

年度	合計	公立	その他
H28	22	22	—
R4	178	172	6

### ★これまでの研修視察校★

- R1 土佐山学舎(高知市) 府中学園(府中市)
- R3 五つ星学園(総社市昭和地区)  
旭学園(美咲町旭地区)
- R4 山南学園(岡山市)

### 【岡山県の設置状況】

・岡山市に「山南学園(義務教育学校)」が令和4年4月1日開校。(岡山県内において第1号)

・今後、県内の他自治体でも、義務教育学校の設置に向け検討中。

※令和5年4月 美咲町 旭学園

※令和6年4月 総社市 昭和地区で開校予定。

## なぜ、今、義務教育学校を考えるのか？

・児童生徒数の減少、寄島地区の子どもの数の減少を鑑み、よりよい教育の在り方を考えるべきである

・これまで小中で取り組んでいる一貫教育をさらに一歩先に進めることができる礎ができています。(よしま学の研究実践、学運協の取組)

・施設一体型の新しい学校になることで系統的で継続的な指導支援により質の高い教育が期待できる

## 期待される教育効果は？

(文部科学省による実施校で行ったアンケートより)

- ①学力・学習意欲の向上
- ②学習規律、生活規律の定着
- ③不登校の減少、中1ギャップの解消・緩和
- ④規範意識の高揚
- ⑤地域・保護者との連携・協働関係の強化

## 課題として考えられることは？

- ①人間関係の固定化への懸念 ②時程の工夫
- ③小学校高学年でのリーダー性、主体性の育成
- ④学年間の体格差への配慮